

マヌカハニー 引合い急増

コサナ

(株)コサナ(東京都中央区)が取扱うニューシーランド産マヌカハニーの引合いが急増している。寺尾啓二代取締役社長によると、今月2日にテレビの健康情報番組でマヌカハニーの特集が行われ、その機能性について放送されたところ、番組の影響で連休明けから問合せが殺到しているという。

同品は強い抗菌作用を持つとされるMGO(食物メチルグリオキサール)を含有。抗菌・殺菌効果は口内細菌や、ヘリコバクター・ピロリ菌への作用が期待されており、腸内環境改善にも役立つとしている。そのほかに抗酸化作用も明らかになっており、中でもシリリング酸メチルは活性酸素への作用も期待できるとしている。

また、同社はマヌカハニーとαシクロデキストリンを組合せたサプリメントを年内に発売予定だという。

同氏はマヌカハニーを、ローヤルゼリー、プロポリスに次ぐ蜂産品になるとし、今後国内でも100〜200億円の市場規模に成長する可能性も、十分にあると見ている。